

同志社高等学校

2025 School Guide



同志社中学校・高等学校

Doshisha Days

豊かに学び、一人ひとりが輝く3年間

比叡山を望む広々としたキャンパス、
荘厳な音色で始まる礼拝も、心豊かな学びへと誘います。
総合力を育むカリキュラムで、何にもばられない幅広い知識を
自主性を養う独自の科目で、自分の興味や進路に合った深い探究を
大学進学後も役に立つプログラムで、社会とつながる多様な価値観を
自立心を育む課外活動で、主体的な行動と自由な発想を
あなたも「知的創造空間IWAKURA」で個性輝く3年間を過ごしてみませんか。



contents

- P03 — 同志社建学の精神と教育理念
- P05 — 総合力を育むカリキュラム
- P11 — 学校行事
- P13 — 部活動
- P15 — キャンパスマップ
- P17 — 卒業生の進路

建学の精神

70余年、岩倉の地に
受け継がれた
良心教育の伝統は、
一人の青年の
崇高な志から始まった。



「欧米に学ばなければ、日本の未来はない。」

そう考え、幕末の動乱の中、日本の将来を憂いて突き動かされるように単身渡米した青年がいました。その青年こそが、後に同志社を創立した新島襄です。在米中に新島は、キリスト教の精神に基づく心の教育こそが、近代化を急ぐ日本にとって必要だと考えるようになりました。日本にキリスト教主義の学校を設立したいという志を抱いたのです。

ある日、アメリカ・ラットランドのグレイス教会の集会で、神学校を卒業したばかりの新島が登壇しました。

「日本にキリスト教を基礎とする学校を建てたいのです！」

高まる思いを抑えきれず、新島の目には涙があふれました。熱意に打たれた人々が次々と募金に応じ、その場で5,000ドルもの献金が集まりました。演壇を降りる新島のもとに、一人の老いた農夫が歩み寄ると、涙ながらにそっと2ドルを差し出しました。「懐にあるのはこれだけですが、どうかお受け取りください。」その2ドルは農夫の帰りの汽車賃だったのです。

1875年、帰国した新島はそんな異国の人の想いを胸に、京都の地に同志社英学校を設立。生徒をかけたがえのない「同志」として、一人ひとりの個性と人格が十分に尊重されることが大切だと考えていた新島。同志社高校は、その志をもとに、キリスト教主義・自由主義・国際主義を土台に据えた「良心教育」を推し進めています。

校祖

新島襄 (1843-1890)

同志社は1875年(明治8年)新島襄によって創立された、キリスト教主義の学校です。

「一国の良心ともいべき人々を育成する」ことが新島襄の願いです。キリスト教を徳育の基本として、知育、体育にもすぐれ、個性豊かな良心を手腕に運用する人々を世に送り出すことに努めています。

新島襄は1つの私立学校の創立者であったばかりでなく、明治という日本近代化の流れの中でキリスト教精神に基づき指導的な役割を果たした思想家でした。

「良心の碑」

「良心之全身ニ充滿シタル
丈夫ノ起り来ラン事ヲ」

その思いを、新島襄の筆跡のまま刻んだ碑が、この「良心の碑」です。この言葉は1889年(明治22年)11月23日、新島襄が一学生(横田安止、当時普通学校5年生)に与えた書簡の一部で、同志社教育のかなめとなる目的を表しています。「良心の碑」は同志社大学はもちろんだ、この同志社中学校・高等学校のキャンパスにも存在し、今も生徒達に新島襄の建学の思いを語りかけています。



教育理念



✦ キリスト教主義

精神と行動を自ら正し、
社会に貢献する人物が育つ

周りに流されるのではなく、自分なりの正しい考え方をしっかりと持ち、変革を自ら実行する「一国の良心」となる人物を育成するにはどうすればよいか。校祖・新島襄は、神を信じ、真理を愛し、他者に対する思いやりの情に厚いキリスト教に基づく徳育こそが必要であると考えました。その信念に従い、同志社高校ではキリスト教主義教育を基本的な方針として実践しています。朝はチャペルで礼拝を行い、「キリスト教学」の科目では愛と真理と正義を学ぶなど、「良心を手腕に運用する」人間が育つ教育が受け継がれています。

✦ 自由主義

一人ひとりの可能性を引き出し、
主体的な姿勢を育む

同志社には、「個儻不羈(てきとうふぎ)」という言葉が受け継がれています。才気がすぐれ、独立心が旺盛で、常軌では律しがたいことを意味する言葉で、新島襄が好んで用いました。同志社では、こうした高い能力を持つ生徒の可能性を最大限伸ばすため、一方的に指導するというスタンスではなく、個性を大切に、一人ひとりが自発的に行動して自分の力を発揮できるよう努めています。これが同志社の考える「自由主義」であり、それはバラエティに富んだ選択科目や多様な進路を保障するカリキュラム、生徒がつくる岩倉祭などにも表れています。



✦ 国際主義

異なる考え方を受け入れ、
価値の創造に活かす

アメリカでの勉強や視察を通して、教育の重要性に目覚めたことが契機となり、新島襄は同志社の設立を決意しました。そのような歴史を持つ同志社高校は世界に目を向けて学ぶ姿勢を重視し、オーストラリア・ウェズリーカレッジとの交流やアメリカ・ヌエバアッパースクールでの国際交流プログラム、それに加えてプレゼンテーション大会やスピーチコンテストなど、英語力を集中的に伸ばす取り組みも実施しています。

総合力を育むカリキュラム

将来を見据えた
人間育成の土壌となる
学びのプロセス



一人ひとりの可能性を広げます！

2025年度カリキュラム

1年

自分の可能性を広げるため、文系・理系に捉われず幅広く学ぶ。

全科目必修のカリキュラムです。得意・不得意、好き・嫌いの区別なく、幅広く学びます。しっかりとした基礎学力とともに、「一国の良心となる人物」に求められる素養を身につけます。さらに、幅広い領域を学びながら、どの方面で自らの可能性を伸ばせるかを探ります。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
HR	キリスト教学	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学Ⅰ	数学A	化学基礎	体育	保健	音楽Ⅰ 美術Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	情報Ⅰ															

2年

自分のやりたいことが見えてきてから、興味・関心に応じて選択科目を学ぶ。

2年次では、週30時間のうち、6時間は「自由選択科目」の枠となります。「自由選択科目」とは、自分の興味や関心、進路を切り拓く上で必要に応じて選ぶことのできる科目です。文系・理系または文理融合の自由な組み合わせで選択し、学ぶことができます。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
HR	キリスト教学	論理国語	古典探究	公共	数学Ⅱ	生物基礎	物理基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	家庭基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・国語表現法(2) ・音楽Ⅱ(2) ・古典講読(2) ・美術Ⅱ(2) ・日本近現代史(2) ・日本史探究(4) ・数学B(2) ・化学(4) ・現代のライフサイエンス(2) ・論理・表現Ⅱ(2) ・英語資格講座(2) 																	

3年

いよいよ高校卒業後に向けて、将来に役立つ総合的な力を育む。

週の半分に相当する14時間が選択枠となります。「自由選択科目」に加えて「総合的な探究の時間」が増え、自分の興味や進路に合わせて科目を履修することができます。大学進学後の学びにも役立つ総合的な力を育むため、プレゼンテーションやディスカッションなど様々な形式で授業を展開します。(⇒9ページ「特論」参照)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
HR	キリスト教学	論理国語	古典探究	倫理	地学基礎	体育	英語コミュニケーションⅢ	数学B	論理・表現Ⅱ	現代文研究	<ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教学特論(2) ・地学(4) ・総合国語 ・古典特論(2) ・現代のライフサイエンス(2) ・現代社会研究 ・日本近現代史(2) ・体育A(2) ・日本史探究(4) ・体育B(2) ・数学研究 ・世界史探究(4) ・音楽Ⅲ(2) ・地理探究(4) ・美術Ⅲ(2) ・総合数学 ・現代思想特論(2) ・英語会話(2) ・理科研究 ・政治・経済(2) ・家庭特論(2) ・英語研究 ・数学Ⅲ(4) ・情報Ⅱ(2) ・物理(4) ・多言語多文化(2) ・音楽文化研究 ・化学(4) ・生物(4) ・情報研究 																		

総合的な探究の時間

自由選択科目

()内は単位数

Point 自分にしかつくることのできない未来を切り拓く

本校は、文系・理系、あるいは特進のようなコース分けを行いません。多様な科目を幅広く学ぶ中で、ひとりひとりの興味や関心を伸ばし、将来の進路を各自が切り拓いていきます。同志社大学・同志社女子大学への推薦を希望する生徒や、他大学への受験を希望する生徒が同じクラスで学び、互いに尊重しあい、刺激を受けながら成長していきます。

まずは中学で学んだ内容を基礎に、幅広い必修科目を学び、社会への豊かな視点を培います。そのうえで、2年次に6単位、3年次に14単位の選択科目が設置されていますので、各自が自らの意思でカリキュラムを組み立てていきます。

これらの科目は少人数クラスで、より確かな学力を身に付けることを目指しています。選択科目には本校ならではのものも多く、年間を通じたグループ学習での豊かな判断力や分析力、あるいはディスカッション、ディベートなどを通してのコミュニケーション能力など、大学や社会で今まさに求められている学力を、高校時代から養うことができます。

そのほかに、同志社大学主催の「基本商業簿記講座」「大学の授業体験」「学部説明会」など、多彩な高大連携プログラムも用意されています。



2年 時間割例

は選択科目

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
	1・2年合同礼拝			学年礼拝	
1時限	英語 コミュニケーションⅡ	論理国語	体育	物理基礎	化学
2時限	体育	生物基礎	英語 コミュニケーションⅡ	キリスト教学	数学B
3時限	古典探究	家庭基礎	化学	数学Ⅱ	公共
4時限	数学Ⅱ	物理基礎	化学	論理国語	HR
5時限	数学B	英語 コミュニケーションⅡ	公共	生物基礎	家庭基礎
6時限	化学	数学Ⅱ	数学Ⅱ	英語 コミュニケーションⅡ	保健

3年 時間割例

は選択科目

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
		学年礼拝			学年礼拝
1時限	総合国語	論理国語	論理・表現Ⅲ	地学基礎	英語 コミュニケーションⅢ
2時限	論理・表現Ⅲ	キリスト教学	体育A	英語 コミュニケーションⅢ	体育
3時限	世界史探究	倫理	英語 コミュニケーションⅢ	論理国語	数学C
4時限	古典探究	数学C	体育	総合国語	HR
5時限	地学基礎	英語会話	倫理	世界史探究	世界史探究
6時限	英語 コミュニケーションⅢ	世界史探究	古典探究	英語会話	体育A

校時表[月～金]

礼拝	1時限	2時限	3時限	4時限	昼休み	5時限	6時限	下校時間
8:25～8:40	8:50～9:40	9:50～10:40	10:50～11:40	11:50～12:40	12:40～13:20	13:20～14:10	14:20～15:10	18:00

自分の興味・関心で選べる 選択科目

2年 希望する進路に応じて、幅広い分野から選ぶ。

2年選択とその後

豊富な選択肢から見える自分の未来

同志社高校では、興味に応じた選択科目を自由に選ぶことができ、自分のペースで将来について考えることができます。

私は2年次まで、進みたい学部ややりたいことを決めかねており、文系と理系どちらにも進学できるように数学と化学を選択しました。そして、3年次ではもともと興味のあった生物と数学をやり切りたいと思い、数学IIIβを選択しました。最終的には商学部で学びたいと考え、現在の進路を選択しましたが、私のように理系科目を中心に学んでいながら、文系の学部へ進んだ人は他にもいます。このように、自分の将来についてゆっくりと考える時間があるのが同志社高校の特徴だと思います。理系科目を学んだことで幅広い知識を身につけることができ、ひとつのことを考えるにしても様々な引き出しを得ることができました。



高垣 駿斗さんの場合
同志社大学
商学部 商学科 フレックス複合コース 進学
(2023年度卒業生)
2年 数学B/化学
3年 数学IIIα/英語表現IIα/数学研究
数学IIIβ/生物

新しい自分が見つかる自由な学び

私は高校入学時から、大学では主に英語を学びたいと考えていましたが、1年次に学んだ化学基礎や情報に魅力を感じ、理系学部にも興味を持ちました。そこで、2年次の選択科目は、将来の選択肢を広げるために様々な進路を目指す科目を選びました。そのうちのひとつであった化学の授業での学びを通じて理系学部への関心が高まり、3年次には理系進学に向けて科目を選択しました。同時に、入学時から変わらず英語の力も伸ばしたいと考えていたため、英語研究を履修しました。結果的に私は3年次で学んだ物理を大学でも学びたいと考え、進学先を選ぶことができました。

このように、幅広い選択肢の中から自分の意志で履修する科目を選ぶことで、好きなことをより深く学んだり、少しの興味から将来が見えてきたりすると同志社高校の魅力だと思います。



高崎 柚衣さんの場合
同志社大学
生命医科学部 医工学科 進学
(2023年度卒業生)
2年 数学B/化学
3年 数学IIIα/英語表現IIb/英語研究
数学IIIβ/物理

※選択科目は2022年度入学生より新カリキュラム移行のため変更されています。内容については5ページをご覧ください。

文理融合の学び

「自分らしさ」の選択

同志社高校の一番の魅力は「自分らしさ」を存分に追求し、将来を見据えながら自分に必要な力を伸ばせることです。「何に興味を持っているのか」「将来何をしたいのか」と自分に問いかけ、自発的に科目選択をすることで、より学習意欲を高めることができました。

私は、1年次での学習を通して、化学の奥深さに興味を持ち、理系科目を選択しました。一方で、元々関心のあった社会分野や情報分野も探求したいと思い、3年次では文理に囚われない教科選択をしました。多くの分野を幅広く学習することで、今まで身につけてきた知識を総括し、より深く融合的な視点を持つことができました。

文理の垣根を越え、自分に必要な科目をカスタマイズすることで、幅広い知識と多角的な視野を習得できたのも、同志社高校ならではの強みだと思います。



富田 千翔さんの場合
同志社大学
商学部 商学科 フレックス複合コース 進学
(2023年度卒業生)
2年 数学B/化学
3年 数学IIIα/英語表現IIa/数学研究
日本史A/地理B/情報特論

幅広い選択肢の中で自らと向き合える環境

私は高校入学当初、漠然と文系の学部に進みたいと思っていました。しかし、1年次の段階では具体的に進路が決まっていなかったため、選択科目では進路の選択肢を広げるために理数系の科目を取りました。そして、実際に授業を受けてみると、数学や化学に興味を持つようになり、理系の学部に進みたいと思うようになりました。3年次には理数系科目に加えて、英語研究を選択しました。授業では、英語でのプレゼンテーションや自身の意見を英語でまとめるといった、必修科目より高いレベルが求められました。その中で、ネイティブの先生からアドバイスをいただいたり、仲間と意見共有をしたりすることを通して、実践的な英語力を高めることができました。

同志社高校では、文理という枠組みにとられない幅広い選択肢の中で、常に自らが興味のあることと向き合える環境が整っており、自身の将来を見据えた学びが実現できると思います。



長村 留愛さんの場合
慶應義塾大学
理工学部 進学
(2023年度卒業生)
2年 数学B/化学
3年 数学IIIα/英語表現IIb/英語研究
数学IIIβ/物理

3年 全員が「特論」や「研究」を通して、一年間で深く探究する。

Voice / 現代社会研究を学んで

自発的なスキルアップへ

現代社会研究では、現代社会の様々な問題を個人やグループで調べ、問題に対する解決策を話し合い、社会問題への関心を高めます。ディベートや発表のほか、企業訪問をするプロジェクトもあり、自ら交渉して取材をし、発見したことを発表するといった大学の先取りのような学びを得ることができます。例えば私はテレビ局に取材を申し込み、生放送スタジオの見学をさせていただくなど、とても貴重な経験をすることができました。

自分の気になったことを自発的に探究することができ、将来への選択肢を広げ、多角的な視野を持つきっかけにもなる魅力的な講座だと思います。



高橋 舞衣さん
同志社大学
社会学部 メディア学科 進学
(2023年度卒業生)

Voice / 英語研究を学んで

「生きた」英語を学ぶ

英語研究では、英語という言語そのものの成り立ちを学びます。その上で、映画や小説、詩などの「生きた」英語から英語圏の文化や視点を考察し、レポートやディスカッションで共有します。ただ文法を正しく使う練習をするだけでは得られない、感じたことを人に伝える手段としての英語を学ぶことができます。私は理系の進路を志して数学や物理を選択しましたが、もとは言語学が好きだったので研究だけは英語研究を選択しました。このように、英語研究は将来英語を中心に使う人でなくても、興味があれば存分に楽しめる講座だと思います。



辻 さぎさん
同志社大学
理工学部
化学システム創成工学科 進学
(2023年度卒業生)

Voice / 体育Aを学んで

競技を通して得た学び

体育Aには運動が好きな生徒、得意な生徒、そして体育に意欲を持った生徒が集まります。その高い水準での個人競技・団体競技の中で、負け・失敗などと言った一見負の感情を伴う経験を次へ活かし、正の感情へと転換する術やその大切さを学びました。また試合形式が多く、生徒主体で行われる授業であるため、生徒同士で教え合うことやチームの雰囲気作りなどの大切さも身をもって感じることができました。体育Aでは、社会の一員として集団に属する限り必要である力を養うことができます。



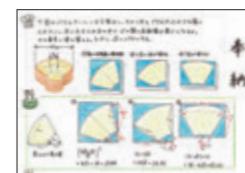
平野 開陽さん
同志社大学
商学部 商学科
商学総合コース 進学
(2023年度卒業生)

Voice / 数学研究を学んで

文理を問わない数学研究

数学研究は、担当される先生によって扱うテーマが異なります。今年は、日本の江戸時代の数学に触れる授業でした。一学期で和算の基礎知識を学び、二学期には自分で算額を作成しました。

私は文系なので授業についていけないか不安でしたが、一年間楽しく学ぶことができました。この授業を通して、日本特有の数学の知識に加え、これからの人生に役立つ思考も身につきました。文系理系を問わず、おすすめしたい科目です。



綾野 光桜さん
同志社大学
文学部 法律学科 進学
(2023年度卒業生)



Voice / 現代文研究を学んで

ことばと、自分と、向き合う

現代文研究の授業では、文豪らの作品を読み解きつつ短い創作を重ね、最後には一本の大きな作品を執筆します。授業を通し、ことばに向き合い文章を形作っていく時間は、私を私自身と向き合わせてくれました。言えないけれど考えていること、自分の嫌いなところ、自分の本当の望み。そういった普段目を向けずにきたことにも向き合せて、気づき、考える中で、私は「私」に少し自信を持てるようになりました。自ら考え、受講生らが本気をぶつけ合うからこそ得られた新しい視点は私の大きな財産です。



岡本 真実さん
同志社大学
文学部 国文学科 進学
(2023年度卒業生)

Voice / 家庭特論を学んで

実践で身につく生活力

家庭特論では、実践的な内容やグループワークが中心であるため、今までの経験や2年次の家庭基礎で得た知識を応用し深く追求することができます。1・3学期では座学と調理実習、2学期では被服実習を行います。授業では、主に衣・食について専門的な範囲まで学ぶことができます。グループワークでは、生徒同士協力して活動するため男女問わず、また得意・不得意に関係なく学ぶことができます。ライフスキルの向上や豊かな生活に繋がる講座です。



松浦 はるなさん
同志社大学
商学部 商学総合コース 進学
(2023年度卒業生)

CASE 理科研究

疑問に向き合い、仮説を確かめる

理科研究は2年までに学んだ理科の内容を踏まえ、基本的にグループに分かれて実験、考察、発表を行います。年度はじめは講座共通テーマで、基本的な現象についてグループで予想を立てた上で実験を行い、測定データから考察を行います。年度の後半からグループごとに決めたテーマに取り組みます。今までの例として「紙飛行機の羽の特徴と飛距離の関係」や「カルメ焼きの体積と重曹の関係」がありました。測定データから言えることと立てた仮説との関係を考える機会となり、文系理系に関わらず今後の学びに役立つ講座になります。



理科研究に取り組んで

「考える力」を身につける

理科研究では、生徒が意見を出し合って実験を行い、実験の精度を上げるにはどうすべきかを考察します。課された内容を与えられた器具でどのように実験すればいいのか、色んなアイデアを出し合って実践します。班ごとに実験の予想・結果・考察をスライドにまとめ、発表を行い、自分の考えと他の班の発表から考えたことをレポートにまとめます。他の人の実験のアイデアや考察の内容を知り、そんな考え方もあるんだ!と感心すると同時に、発想力も身につけることができました。また、実験方法を定める時、実験結果の数値の誤差を小さくする方法を前もって考えたことで、物事を先立って考える力もつきました。これらの理科研究で培った力を大学の研究にも活かしていきたいです。



植野 小春さん
同志社大学
生命医科学部 生命システム学科
(2023年度卒業生)

楽しく実験しよう

理科研究は様々な運動や性質を班に分かれて実験し、結果をまとめて発表する授業です。この授業の面白いところは、実験方法が1から100まで説明されず実験目的しか明確に分からないため、その目的を達成するためにどのように実験したら良いか、班のみんなまで考えながら活動することだと思います。その中で行き詰まるのであれば先生に相談し、ヒントをもらうこともできます。でも、あくまで理科研究は生徒主体なので、授業を「受ける」という感覚は全くなかったです。また、実験方法や結果が班によって異なるので、発表を聞き自分では思いつかなかった考え方に気づくこともありました。さらに発表後にはレポートを書くため、レポートの書き方も学ぶことができます。



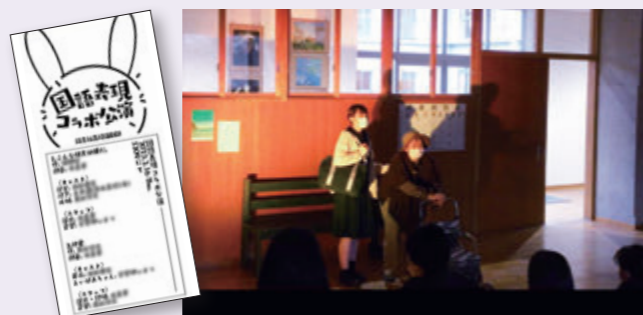
栗原 暖二さん
同志社大学
商学部 商学科 商学総合コース
(2023年度卒業生)

理科が得意な人も、そうでない人もみんなが楽しく活動することができる講座です。

Pick Up!!

授業とクラブ活動のコラボ企画

2年生選択科目「国語表現法」にて受講生が創作した脚本を、演劇部が校内で上演しました。受講生には、シナリオが実際の舞台作品として公演される喜びがある一方で、演劇部にとっても普段の活動で培った表現力を多くの人に発表する場となるなど、お互いに多くのものを得られています。授業での取り組みの成果を授業の外へも開いて共有する、良い機会となっています。



同志社大学との連携

実験教室

最先端の研究に触れる。

同志社大学の理工学部が、化学に興味・関心をもつ高校生のために企画した体験教室です。大学の講義室や研究室を見学し、機能分子・生命化学科、化学システム創成工学科の様々な研究テーマの中から、希望する実験を体験することができます。理工系の先端技術に触れ、魅力ある「化学」の世界を垣間見ることができる企画です。



大学入学準備講座

大学教員の講座を聴く。

大学教員の最先端の研究に触れる機会として企画され、毎週土曜日、各学部の担当が行う12回の講座に多くの高校生が参加しています。講座の内容は、「株式市場と政策」(政策)、「いのちの不思議」(生命医科)、「企業へのフィールドワークの誘い—中小企業経営を研究する—」(商学)など、多種多様です。



基本商業簿記講座

商学部の講義で簿記に取り組む。

商学部で学ぶ簿記の授業を高校3年秋から受講することができます。公認会計士試験への挑戦など、大学での発展を図るために企画された講座で、20年近い歴史があります。今出川キャンパスで直接大学教員から講義を受けて、「日商簿記検定試験3級」の合格を目指します。



パワーアップセミナー

パワーアップセミナーは同志社高校で30年以上続いてきた企画です。社会のさまざまな分野で活躍されている方々をお招きし、お仕事についてのお話や、進路選択へのアドバイスなどを伺います。「大学で何を学ぼうか迷っている」、「将来どんな仕事をしたいかわからない」、「海外で仕事をするためにどんな学部を選択したら良いのだろう」など、卒業後の進路に悩んでいる人には参考になるお話ばかりです。また、京都市内の史跡や博物館、地方裁判所などを訪れるフィールドワークも実施しています。自分自身の視野を広げるまたとない機会です。



検事・弁護士OB・OGによる資格のお話



法蔵館訪問

国際交流



3Dプリンターを使った技術の授業



スクールドラマ体験授業



スタンフォード大学訪問

同志社建学の精神は、創立者・新島襄が欧米で過ごした10年間で培われました。本校では、開学以来、国際的視野に立った教育を重視しています。短期留学では、内容の異なる2種類のプログラムを用意しています。一つは、オーストラリア・メルボルン市にあるウェズリーカレッジとの交流で、30年以上続く伝統あるプログラムです。1年生を中心としたメンバーが参加しています。もう一つは、アメリカ・サンフランシスコにあるヌエバアップスクールとの交換留学プログラムです。現地では授業に参加してディスカッションやプレゼンテーションを行うなど、高い英語力が求められるプログラムです。

ここでしかできない経験を

Nueva Upper Programでの貴重な体験を通じて私は多くのことを学びました。特に私がこのプログラムに参加して1番良かったと感じるのは、何度も勇気を振り絞り、自分自身で自分の世界を変えていくという経験ができたことです。異文化での生活や日本とは全く違うスタイルでの授業など、全てのことが私にとって衝撃的でした。知らない世界に飛び込む勇気、分からないことや自分のしたいことをはっきりと相手に伝える勇気、拙い英語でもとにかく話してみる勇気など、様々な勇気と挑戦が必要な10日間。その中で、私は自分の世界がどんどん広がっていくのを実感し、知らないことを経験する楽しさと充実感を学びました。一度振り絞った勇気は自信となり、帰国後の学校生活でもとても役立ちました。貴重な経験と学びができるこのプログラムに参加して本当に良かったです。



矢野 菜木さん
同志社大学
社会学部 教育文化学科 進学
(2023年度卒業生)

- 4 APRIL
 - 入学式
 - 始業式
 - クラブ紹介
 - 2・3年学カテスト
- 5 MAY
 - 遠足
 - 生徒大会
 - 中間試験
- 6 JUNE
 - 宗教週間
 - 教育実習
 - 進学説明会
 - 球技大会
 - クラス懇談
- 7 JULY
 - 期末試験
 - 同志社大学・学部説明会
 - 2・3年団体鑑賞
 - 終業式
 - 1年クラス合宿(1泊2日)
 - 3年保護者個別面談
- 8 AUGUST
 - クラブ合宿
- 9 SEPTEMBER
 - 始業式
 - 体育祭
 - 岩倉祭
- 10 OCTOBER
 - 中間試験
 - 人権学習
- 11 NOVEMBER
 - 進学説明会
 - 保護者個別面談
 - 宗教週間
 - 創立記念日(29日)
- 12 DECEMBER
 - 期末試験
 - クリスマス礼拝(終業式)
 - 岩倉キャンパスクリスマス
 - クラブ合宿
- 1 JANUARY
 - 始業式
 - 新島永眠記念日(23日)
 - 3年学年末試験
- 2 FEBRUARY
 - 入学試験
- 3 MARCH
 - 1・2年学年末試験
 - 卒業式
 - 終業式
 - 学校スキー
 - クラブ合宿

岩倉祭

岩倉祭は、同志社高校の仲間と熱くなる秋の一大イベント。1年生は中庭ステージ発表、2・3年生はクラス演劇などを行います。また、学芸部が活動を発表し、キャンパスを盛り上げます。



体育祭

全学年が、A組からH組まで、クラスごとに縦割りの8分団(チーム)に分かれます。競技だけではなく、得点パネルのデザインや応援合戦も、すべて分団対抗で競い合います。応援合戦では、衣装・小道具などにも工夫を凝らした、華やかなダンスが披露されます。何度も練習を重ねたパフォーマンスが、観衆を魅了します。



生徒自治会会長(総務パートチーフ)

「会心の一撃」

昨年の岩倉祭に参加したとき、生徒たちが企画・準備から実行までのほとんどを担って実施していたことに感動し、私も生徒会に参加しようと決意しました。

2023年度は、コロナによる様々な制限がなくなった岩倉祭となりました。皆が待ち望んでいた今年の岩倉祭を全力で頑張り、全員が衝撃を受けるようなイベントにしたいと考え、「会心の一撃」というテーマを掲げました。夏休み前から準備は始まり、どうすれば皆が笑顔で楽しむことができるか考え続けました。生徒が主体で進めていくため、様々なユニークなアイデアが多く出てきて、さらにそれを実現しやすいところが岩倉祭の魅力であり、やりがいであると思います。

岩倉祭当日のクラス発表や、部活の発表を見ている人、発表を終えた人の笑顔は、私にとっていつまでも忘れないものとなりました。やりたいことを自由に言い合える環境、そしてそれを実行できる場があることが、同志社高校の一番の魅力だと思います。



岡田 雄翔さん
同志社大学
法学部 法律学科 進学
(2023年度卒業生)

体育祭パートチーフ

理想を思い描いて

同志社高校の体育祭を一言で表すと、まさに「青春」です。体育祭当日はもちろん、それまでの準備過程も大切な思い出になります。

分団ごとに応援合戦のダンスに取り組んだり、得点板を手作りしたりと、体育祭に向けての準備では分団やクラスでの活動がたくさんあります。そのため準備を通して分団やクラスの仲が深まり、当日は自然と自分の分団やクラスを応援する雰囲気生まれます。また、体育祭パートに入れば体育祭をもっと充実させることができます。同志社高校では先生方に協力していただきながらではありますが、実施する競技の選定から、パネル制作や応援合戦のルール決め、そして当日の運営まで体育祭の全てを生徒主体で進めていきます。体育祭パートの活動を通して、競技に参加する楽しさだけでなく体育祭を仲間と創りあげたという達成感も得ることができます。本気で競技に参加するもよし、誰かを全力で応援するもよし、運営側として影から支えるもよし。同志社高校の体育祭はそれぞれが自分なりの楽しみ方で参加することができます。



矢野 杏莉さん
同志社大学
商学部 商学科 商学総合コース 進学
(2023年度卒業生)

岩倉祭ができるまで

“パートって?”

総務・財務・設備・音響照明・体育祭・演劇祭など、岩倉祭を支える9つのパートに所属するメンバーのことをいいます。6月にパート員が募集され、各パートのチーフを中心に、岩倉祭を裏から支えます。

6月 パート員募集

いよいよパート員の募集。今年も、岩倉祭がはじまる。

7月 パート会議&パートチーフ会議

岩倉祭までの期間、各パートがそれぞれの役割について検討を重ねます。パートチーフは、チーフ会議の場で互いの連携を確認しています。

8月 秋を目指して本格化!

演劇の脚本チェック、お金の管理、テントやステージの手配など、全てパートが取り仕切り、秋を目指します。

9月 ラストパート!

チャペルに舞台が完成。各クラス・クラブの稽古も大詰めです。パート間の連携をはかりながら本番に向けての最終調整をします。

岩倉祭 ついに開催!



遠足

近隣の都道府県でクラスごとにバーベキューやレクリエーションを行います。新しいクラスの仲間との交流を深めながら過ごす一日です。



岩倉キャンパスクリスマス

地域の方々も招き、チャペルで行う行事です。ホザナコーラス部や管弦楽部、宗教部などを中心に、聖歌隊やハンドベルの演奏、お祈りなどの式を生徒によって執り行います。



球技大会

生徒会主催の行事で、学年ごとにクラス対抗でサッカーやバレーボールの試合を行います。比叡山を望む広いグラウンドが歌声に沸くイベントです。



学校スキー

高校体育科主催の行事で、4泊5日のスキー・スノーボード合宿です。1~3年の希望者が自由に参加できます。インストラクターの指導のもと、仲間と一緒に楽しく技術を修得できます。

のびのびと個性を発揮する、多彩な部活動

同志社高校には数多くのクラブ・同好会があります。
「自由・自治・自立」の校風が息づき、自主性を持ってのびのびと活動しています。

Sports

— 運動部 —

- アーチェリー
- ハンドボール
- 剣道
- ラクロス
- 陸上競技
- 山岳
- ソフトテニス
- 体操競技
- 卓球
- バドミントン
- 男子バレーボール
- 女子バレーボール
- 男子バスケットボール
- 女子バスケットボール
- 硬式テニス
- 硬式野球
- ラグビー
- サッカー
- スキー
- ダンス

Arts and Sciences

— 学芸部 —

- 美術
- 地学
- 地歴
- 英語
- 演劇
- ホザナ・コーラス
- 化学
- 管弦楽
- 茶道
- 生物
- 写真
- 将棋囲碁
- 軽音楽
- 宗教
- 放送
- 文芸
- コミックアート
- クイズ



スキー部
日下 寛人さん
同志社大学
経済学部 経済学科 進学
(2023年度卒業生)



スキーを通して出会った仲間たちと過ごす青春

私は中学までサッカー部でしたが、高校でスキー部に入りました。クロスカントリーをやったことのない私は、合宿を通してスキーの楽しさや奥深さに気づきました。スキー部では、仲間と一緒に雪山で滑ったり、全員でスキーを研究したり、とても充実した時間を過ごしました。寝食を共にすることで仲間の絆は深まり、互いに高めあうことができました。またスキー部に入ってからは、自分の成長も実感することができました。初心者だった私は、練習を重ねて、少しずつ上手になり、自信もつき、全国大会に出場することもできました。全国大会では、自分の力を発揮して、仲間や先生に喜んでもらえました。スキー部での経験は、私にとってかけがえのないものとなりました。スキー部に入って、本当に良かったと思っています。



ラグビー部
山田 満長さん
同志社大学
政策学部 政策学科 進学
(2023年度卒業生)



自己成長と主体性

私が考える同志社高校の魅力は、学生の意見やアイデアが尊重され、主体的な行動が求められることです。それを特に体感できたのはラグビー部での活動でした。部活動では部員が中心となり、目標や方針を設定しチームの運営にあたっていますが、私は主将として目標を達成するために必要な行動を明確にし実践することを心掛けてきました。そして、ひたむきに努力を積み重ねてきたものが成果として現れたことで、自分自身の成長を実感するとともに、自信をつけることに繋がりました。自信をつけて成長することで自己実現や目標達成をより確実なものとし、主体性を持った未知の自分に出会うことができました。このような貴重な経験ができたのは、かけがえのない仲間に出会えたこと、及び顧問の先生方や、コーチ・OBの方々の手厚いサポートに恵まれていたお陰であると実感しています。



男子バスケットボール部
長尾 龍之介さん
同志社大学
経済学部 経済学科 進学
(2023年度卒業生)



理想の自分を目指せる環境

誰もが理想の自分を描くための環境が同志社高校には備わっています。そして、理想の自分を描くためには周りの意見に流されるのではなく、自分の目標に対して向き合う、主体性を持つことが大事です。私はバスケ部のキャプテンとして最高のメンバーを引っ張り、共に試合を勝ち進んでいきたいという目標がありました。それと同時に、岩倉祭の演劇で主役を務め、岩倉祭を締めくくると同時に、岩倉祭の最後の大会と文化祭の日程が被っていたこともあり、簡単にはこなせることはありませんでしたが、目標に向かって取り組み、周りの助けも借りながら最終的には全てを悔い無くやり遂げることができました。同志社高校には、部活、勉強、行事などにおいて自分の目標を実現するために挑戦できる環境があります。あなたも理想の自分を目指してチャレンジしてみませんか。



剣道部
佐藤 陽さん
同志社大学
理工学部 電子工学科 進学
(2023年度卒業生)



一つ一つ丁寧に向き合える環境

私は、剣道部での活動を通して、稽古に臨む姿勢や礼儀を教わりました。第一に稽古を行える環境に感謝し、稽古に対して目的を持って丁寧に取り組み、自ら成長を求め、稽古を大切にしてきました。これら剣道部での経験が部活動だけに留まらない自身の成長に繋がっていることを日々感じています。特に、周囲に感謝する心を学べたことは、私にとって大きな成長でした。また、学業に関しても、積極的に思考しながら授業を受けたり、苦手単元の克服方法を考えたりするなど、稽古の取り組み方と共通する部分が多くありました。同志社高校での生活は、部活動や学業など一つ一つに丁寧に取り組むことができ、人生に通じる成長を得るきっかけになったと考えています。



軽音楽部
野中 くるみさん
同志社大学
商学部 商学総合コース 進学
(2023年度卒業生)



人との出会いによる自分自身の成長

私は同志社高校で軽音楽部に所属していました。元々音楽が好きだったのですが、入部してからは周りの人の影響で、より幅広いジャンルの音楽を聞くようになりました。軽音楽部は先輩後輩関係なく仲が良く、刺激的な出会いになりました。2年生で部長になってからは部活動の運営を行いました。私はこの部長の経験を通して、物事を考える力が身につきました。人数の多い軽音楽部の運営は課題も多く、解決するのが難しかったですが、そんな時には一緒に運営していた幹部や他の部員に助けられました。同志社高校では個性豊かで色々な才能を持つ人がたくさんいます。そのような人と接することで自分自身も成長できたり、自分のやりたいことが見つかる場所だと思います。



演劇部
北島 葵さん
同志社大学
社会学部 社会福祉学科 進学
(2023年度卒業生)



大正解の選択

私にとって演劇部の活動というのは、高校生活の全てでした。放課後になれば教室を飛び出て発声練習へ。長期休みに入れれば毎日稽古に明け暮れていたものです。とても、とても、充実した高校三年間でした。そんな表現の日々を送ることができた背景には、同志社高校の自由な気風があります。同志社高校に集う人々はみな「互いを受け入れる」とことに関して長けており、そのような特徴から生まれる、互いを自然に尊重し合う関係が学校全体に満ちていました。これが、同志社高校の一番の魅力です。教育において最も重要で、唯一無二の豊かさがここにはあるのです。今思い返してみれば、同志社高校で青春を過ごしたのは、私にとって大正解の選択でした。



広々とした岩倉キャンパスで、充実の施設

I W A K U R A

CAMPUS MAP



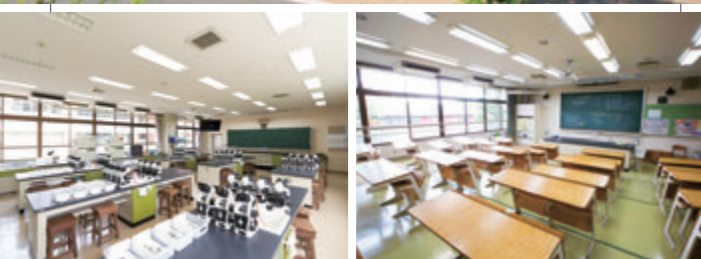
A 想遠館 (そうえんかん)

生徒の創造力、そして想像力を養う創作芸術棟です。北側天窓から美しい光がさし込む美術室は、生徒の若い創作意欲を掻き立てます。また、調理室、被服室それぞれ独立した教室をもつ家庭科の授業では、専門性の高い実習を行っています。



B 万象館 (ばんしょうかん)

建物上部に設けられたドームでは天体観測を行うことができ、宇宙の神秘を感じられます。また、化学・生物・物理など理科の各分野の実験室や講義室が完備され、学びを深めるための多くの機会を提供します。



D テニスコート

オムニコート4面を備えており、体育の授業やクラブ活動に利用しています。



E 南グラウンド・東グラウンド

全天候型走路を含む広々としたグラウンドは、ラグビー、野球、サッカーが同時にできる広さです。

C 知創館 (ちそうかん)

100台以上の生徒用PC、7万冊にものぼる蔵書や視聴覚資料に囲まれたメインフロアは、仲間とディスカッションしながら利用できる自由な空間です。また、大勢の前で発表する能力を養うプレゼンテーションステージは、授業やクラブ活動で盛んに利用されており、学び・創造・発表の楽しさを味わうことができます。



グラウンドはすべて人工芝

人工芝は、景観が美しくなる、土ぼこりが立たない、水はけがよくなるなど、様々なメリットがあります。同志社高校では、南グラウンドをはじめ、グラウンドとハンドボールコートに人工芝を敷き、快適性の向上を図っています。安定したコンディションで、体育の授業はもちろん、クラブの練習に利用しています。



G 宿志館 (しゅくしかん) グレイス・チャペル

グレイス・チャペルを中心に、魅ホール、カフェテリア、音楽教室、茶室などが設けられ、学園祭や岩倉キャンパスクリスマスなど、さまざまな学校行事に欠かせない建物です。チャペルでは毎朝、厳かな礼拝が行われ、生きる意味を学ぶ貴重な場になっています。また、ケヤキ並木を望むカフェテリアは食事や談話に利用でき、生徒たちに人気です。



F 翼翔館 (よくしょうかん)

冷暖房設備を導入したメインアリーナのほか、2つのサブアリーナや多目的スペースを備えています。未来を生きる生徒たちの「快い大空へ舞いあがるような気持ち」を育み、自由人として羽ばたく活躍を願う思いが、建物の名称に込められています。その名の通り、最新の広々とした屋内空間で思う存分に活動することができます。



翼翔館



シアリーナ



Sアリーナ

H 桑志館 (そうしかん)

中庭を囲むようにHR教室が配置された、生徒たちの学びの中心となる校舎です。学校生活の多くの時間を過ごすHR教室には陽光がそそぎ、のびのびと学ぶことができます。また、広々とした中庭は、休み時間や放課後に生徒たちの憩いのスペースになります。全体に明るく開放的な空間で、豊かな知性と人間性を育むのにふさわしい環境が整っています。



推薦制度により、同志社大学・同志社女子大学に進学する生徒が約85%を占めます。その他の約15%の生徒は、同志社大学・同志社女子大学に設置されていない学部学科(医学・歯学・建築学・農学など)を中心に進学します。ほとんどの生徒が四年制大学へ進学します。

同志社大学への進学

同志社大学への過去3年間の推薦数		2023年度卒		2022年度卒		2021年度卒		
		学科別	学部別	学科別	学部別	学科別	学部別	
同志社大学	神学部	2		1		0		
	文学部	英文学科	1		1		1	
		哲学科	3		3		3	
		美学芸術学科	3	22	3	22	4	22
		文化史学科	5		6		5	
		国文学科	10		9		9	
	社会学部	社会学科	5		5		5	
		社会福祉学科	6		6		5	
		メディア学科	5	23	5	23	5	23
		産業関係学科	4		4		5	
教育文化学科		3		3		3		
法学部	法律学科	55		50		65		
	政治学科	12	67	12	62	14	79	
同志社女子大学	経済学部	45		45		45		
	商学部	43		43		43		
	政策学部	21		19		21		
	文化情報学部	10		10		13		
	理工学部	インテリジェント情報工学科	4		6		6	
		情報システムデザイン学科	6		5		6	
		電気工学科	4		1		4	
		電子工学科	2		2		3	
		機械システム工学科	2	31	8	40	2	36
		機械理工学科	1		1		2	
機能分子・生命化学科		5		7		3		
化学システム創成工学科		3		5		5		
環境システム学科		2		3		2		
数理システム学科		2		2		3		
生命医科学部	医工学科	2		1		1		
	医情報学科	2	6	4	8	3	6	
	医生命システム学科	2		3		2		
	スポーツ健康科学部	10		6		9		
心理学部	11		10		10			
グローバル・コミュニケーション学部	5		2		5			
グローバル地域文化学部	10		10		8			
同志社大学合計	306		301		320			

150年の歴史と伝統を礎に先進的な教育・研究を実践

同志社大学

【今出川キャンパス】 神学部/文学部/社会学部/法学部/経済学部/商学部/政策学部/グローバル地域文化学部
【京田辺キャンパス】 文化情報学部/理工学部/生命医科学部/スポーツ健康科学部/心理学部/グローバル・コミュニケーション学部

同志社大学は、日本の大学構想の先進的な役割を果たしてきた総合大学です。近年、「きめ細かな少人数教育」と「世界水準の教育・研究」をキーワードに、ソフト・ハードの両面で改革が進められています。2013年4月には、より体系的で一貫性のある教育を実現するため、文系学部の拠点を今出川校地に集約。施設・設備が新設され、キャンパス環境も整備されています。



女子大学の先駆けとして次世代をリードする女性を育成

同志社女子大学

【今出川キャンパス】 表象文化学部/生活科学部
【京田辺キャンパス】 学芸学部/現代社会学部/薬学部/看護学部

1876年(明治9年)、女子塾としてスタートした同志社女子大学は、リベラル・アーツ教育を目指すキリスト教主義女子教育の先駆けとなりました。現在では、専門分野を学びながら、他学科科目や他大学単位互換科目を履修できるなど、多彩で柔軟性のある学びのシステムを導入。豊かな教養を身につけるとともに、広い視野から物事の本質をとらえる力と、世界に通用する創造力を養います。



他大学への進学

国立大学

- 京都大学(2)
- 大阪大学(1)
- 金沢大学(1)
- 岐阜大学(1)

私立大学

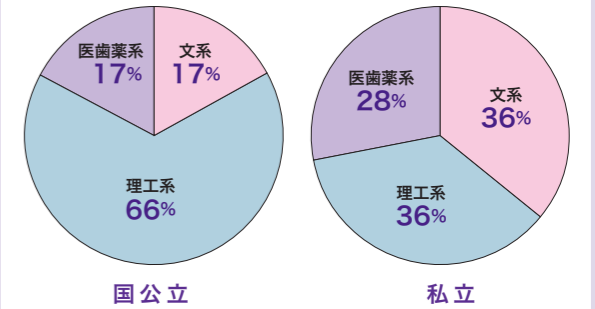
- 慶應義塾大学(7)
- 国際基督教大学(2)
- 早稲田大学(1)
- 上智大学(1)
- 青山学院大学(1)
- 麻布大学(1)
- 明治大学(1)
- 北里大学(1)
- 明治学院大学(1)
- 立命館大学(1)
- 立命館アジア太平洋大学(3)
- 近畿大学(5)

公立大学

- 大阪公立大学(1)

2023年度入試合格実績(人)

【2023年度入試合格学部内訳】



自由に将来を考えられる素敵な場所

私は、同志社高校で幅広い選択肢の中から、自分の将来について考え、結果的には他大学への進学を選びました。

入学当初、具体的な将来の目標がなかった私は、自分の将来について考えるため、全ての教科に関心を持って取り組みました。文系系系を問わない幅広い学びに触れたことで、自分が興味のあることを見つけることができました。先生方は、いつも型にはまらない面白い授業を準備してくださり、興味の幅が広がりました。

また、ラクロス部の活動にも全力で打ち込

みました。全国制覇という目標を掲げ、仲間と日々練習に励み、全国の舞台で戦えたことは、私にとってかけがえのない青春です。

自由で自主性を重んじる同志社高校だからこそ、のびのびと楽しく勉強も部活動も全力で頑張ることができたと思います。

同志社高校は1人1人の個性を重んじ、自分のやりたいことを追求できる場所です。この素晴らしい環境で、尊敬できる先生方、かけがえのない仲間と出会い、興味の幅を広げ、とても有意義な高校生活を送ることができました。



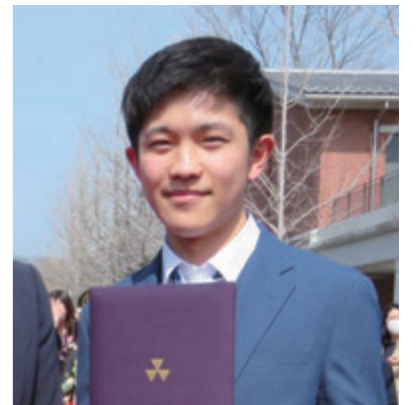
林 萌々さん
慶應義塾大学 理工学部 進学
(2023年度卒業生)

全ては自分次第となる自由な環境

私は中学から6年間同志社に通って来ました。中学の頃は他大学受験のことは意識しませんが、高校1年次に今後の進路を考えた際、今の自分が心から納得できる選択をしたいと思い受験を視野に入れました。しかし中高続けていた野球に注力したかったことや、他大学受験者が少数派であることへの不安から決心が遅れ本格的に受験勉強を開始したのは高校2年次の秋でした。

他校の受験生と比較し学習進度に遅れがある自覚があったため、部活以外の時間は全て勉強に捧げるようにしました。その結果共通テスト、二次試験ではともに自己ベスト

を大きく更新することができました。部活は最後までやり遂げ、体育祭で分団長となり総合優勝を達成するなど学校生活も充実したものになりました。当時部活、勉強、学校生活に妥協なく全力で取り組む経験ができたことは大きな糧となっています。苦労はありましたが、掲げた目標と全力で向き合うことができたのは、学生生活で何に注力するかは自分次第であるという同志社高校の自由な環境、常に親身でくださる先生方や両親、そして友人達のお陰でした。同志社高校で他大学受験をするという決断をしたことに後悔はありません。



蔭山 剛大さん
神戸大学 国際人間科学部 環境共生学科 進学
(2022年度卒業生)

仲間を得て、好きなことを見つけ、好きな仕事に就くことができました。

初めて物語を書いたのは、幼稚園の時。「ピンクのボタンを落とした子ヤギ」という絵本でした。小学校の入学式直前に、京都の岩倉に引っ越して来ました。アパートのベランダからは、同志社高校の北グラウンドが見えました。

スカート履かなくていいこと、プールがないこと、何より家から近いこと。この三拍子揃った高校に通うため、私は中学受験を決意したのでした。同志社高校の西側には岩倉川が流れていて、春は花筏、初夏には蛍が見られます。私が通っていた頃は岩倉川と高校を隔てるフェンスはなく、それが自由な気風を象徴しているようでした。

放課後の教室で、友達と暗くなるまで他愛ない話をしたり、写ルンです写真撮ったり、畑の真ん中にぼつんとあるソフトクリーム屋さんへ行ったり、初めて買ったギターでバンドを組んだり…。どの場面でも笑っていたように思います。

ユニークな授業も多く、特に印象に残っているのは現代文特論です。歌詞曲から連想して物語を書いたり、デカダンスをテーマにプレゼンしたり、新聞の読者欄にエッセイを投稿したり…。表現することや伝えることの面白さにハマっていききました。みんなの作品をまとめて一冊の本を作る際には、編集チームに立候補し、作品を世に送り出す裏方の仕事にもやりがいを感じました。

現在私は東京で、アニメーション制作会社「ラバントラック」の代表を務めながら、脚本家としても活動しています。色々な幸運が重なり、「映画ドラえもん のび太の地球交響楽」の脚本を執筆しました。それをきっかけに高校時代の友達が連絡をくれたり、二十数年ぶりに再会することもできました。会えばすぐに懐かしいあの頃に戻れることを嬉しく思うと同時に、皆それぞれの個性を存分に発揮できる仕事をしていて誇らしい気持ちになりました。

遅刻や忘れ物が多く優等生とはほど遠い私でしたが、仲間を得て、好きなことを見つけ、好きな仕事に就き、今この文章を書いています。実績や数字も素晴らしい同志社高校ですが、それ以上に目に見えないたくさんのものを与えてもらったと感じています。

もし生まれ変わっても、また同志社高校での青春を楽しみたいと思います。

【脚本家】内海 照子さん

ラバントラック 代表
2001年度卒業生
[同志社大学 法学部法律学科 卒業]



「面白そう」とチャレンジできたのは、自由な校風のおかげです。

同志社高校では剣道部に所属し、ほぼ毎日を部活に打ち込むという日々を送ってありました。高校生活を全力で部活に打ち込むことができたのは、「自由・自治・自立」という建学の精神のもと、自由な校風があったからこそであり、内部進学制度を利用して、同志社大学に進学することができたからでもあります。

私自身、元々弁護士を目指していた訳でもありません。司法試験を受験すると決めたのは、大学3年目終わりの頃ですし、内部進学制度を利用して法学部に進学したのも、進路説明会に来られていた法学部出身の卒業生のお話を聞いて、「法律って面白そうだ」と思ったことがきっかけです。将来については、「法律を研究してみるのもいいな。そうすると大学院かな？」と漠然と考えていた程度でした。

その後、司法試験を受験しようと決めたのも、「検察官の仕事は、面白そう」と思ったからです。大学院進学後には「弁護士の仕事は、面白そう」と思い、最終的に今の仕事に就いています。

このように「面白そう」と思ったことに、思い切ってチャレンジすることができる力が身に付いたのは、同志社高校での高校生活にあります。同志社高校では、「自由・自治・自立」という建学の精神のもと、自由な校風があるからこそ、生徒が好きなこと・やってみたいことに対し、自由にチャレンジできます。それは、部活動だけではなく、選択式の授業で自身の将来を考えて自ら履修科目を選択するときや、生徒会活動、岩倉祭や体育祭の行事など様々な場面で現れています。そして、チャレンジしようという生徒の想いに対しては、教員の方々からサポートしていただける環境があります。

私は現在、国内における交渉や訴訟事件だけではなく、海外の方からも依頼を受けており、国境を越えて仕事をしています。これまで想像もしたことがないような事件に関わることができ、「面白そう」で飛び込んだ世界が本当に「面白い」と実感する充実した日々を送ることができています。

これから入学される皆さんにも、「面白そう」な世界に飛び込み、チャレンジできるよう、同志社高校の自由な校風の中で、日々の学校生活を全力で楽しんでいただきたいと思います。

【弁護士】北田 海人さん

富士パートナーズ法律事務所
2012年度卒業生
[同志社大学 法科大学院 修了]



どんな人にも居場所があり、どんな生き方も受け入れられるように。

同志社高校は広々とした豊かな環境のなか、のびのびと生きることを教えてくれる場所でした。私はどちらかというとあまり喋らない、おとなしいほうでしたが、そういう人にもちゃんと居場所があったな、と思返します。個性を大事にするという土壌が当たり前にあったから、生きやすい人が多かったのだと思います。

学生生活ではたくさんの楽しいことがあり、オーストラリアのウェズリーカレッジとの交換留学や、学園祭、体育祭の応援合戦、こっそり回っていた友だち同士の交換日記など…。日常のささいなやり取りも、ここには書き切れない素敵な思い出がたくさんあります。

同志社高校での生活は朝の礼拝から始まります。私はお寺に生まれたので、キリスト教とは少し違う価値観のなかで育ったのですが、チャペルで神さまに感謝し、先生方のお話を聞き、自分自身を省みる時間があったことは、自身や他者の命について深く考える時間となりました。

大好きだった美術の時間、油絵で校内の風景を描いていたとき、先生に「ものには固有の色がないから、好きな色を塗っていい」と教わりました。最初から決まっているものはなく、自由に決めていいんだ、とその言葉がきっかけで思えるようになりました。

私は小さい時からお坊さんになりたいと思っていましたが、卒業後は同志社大学の文学部美学芸術学科に進学しました。これは高校での先生の言葉がきっかけで、好きなことを研究したい、そして美術というものをとおして「ものの見方を知りたい」と考えたからです。大学卒業後は三年間一般企業に勤め、その後真言宗の大学に編入してから僧侶としてお寺で勤め始めました。

あまり一般的ではありませんが、お坊さんという職業は、仕事というよりも「生き方」に近く、世界をどのように見るか、人間の心をどのように解釈するかを、常に問い続けています。また、いろいろな人とお話しする機会が多く、同志社高校で培われた、それぞれの生き方を受け入れるような姿勢が私にも身についたのだと思います。

同志社高校はとても自由な高校です。これから高校生になられる皆さんにも、自身の可能性を信じて、たくさんの仲間と学んでいっていただきたいです。

【大本山石山寺第53世座主】鷺尾 龍華さん

大本山石山寺
2005年度卒業生
[同志社大学 文学部美学芸術学科卒業 / 種智院大学 人文学部仏教学科 卒業]



自分の納得がいくまで挑戦し、部活動と他大学進学の間立目標を実現。

今、私は通信会社の戦略部門で働いています。現場のDXを推進し、これまでの「当たり前」に捉われることなくより良い形に変革していくことがメインミッションです。

今年で4年目になりますが、AI等を活用した新たなプロジェクトの立ち上げやチームの全体方針策定など、「若手」という立場に縛られることなく様々なことにチャレンジしてきました。変動の激しい「VUCAの時代」に適応するために、迅速に意思決定をしながらプロジェクトの提案から導入まで一人称で進めるというのは大変ではありますが、その分やりがいも大きい仕事です。

私がここまで臆せず挑戦を重ねてくれたのは、同志社高校での経験がとても大きいと感じています。大小問わず様々な挑戦をした3年間でしたが、特に印象に残っている挑戦は「部活動を続けながら他大学進学したこと」です。

私は、高校入学当初から他大学進学に興味を持っていたものの、部活動を悔いなくやり切ることも諦められませんでした。どちらを優先するか迷いましたが、途中で「考え続けることで「正解」がわかる問題ではない」ということに気付き、ひとまず双方の目標を叶えられるように動いてみよう決めました。

限られた時間の中で双方を両立することは簡単ではなく、学業も部活動も成績が伸び悩んだりもしましたが、先生方や両親、友人たちのサポートのおかげで、最終的には部活を引退までやり切った上で目指していた大学にも進学することができました。

この経験の中で、「机上での検討に時間をかけ過ぎず、ある程度考えたら行動に移してみる」「何事からも学びを得られるのだから、失敗でさえも無意味なものではない」というマインドを持つことができ、これが大学生活や現在の社会人生活で私の武器になっています。

これから同志社高校に入学される皆さんには、無限大の可能性あります。

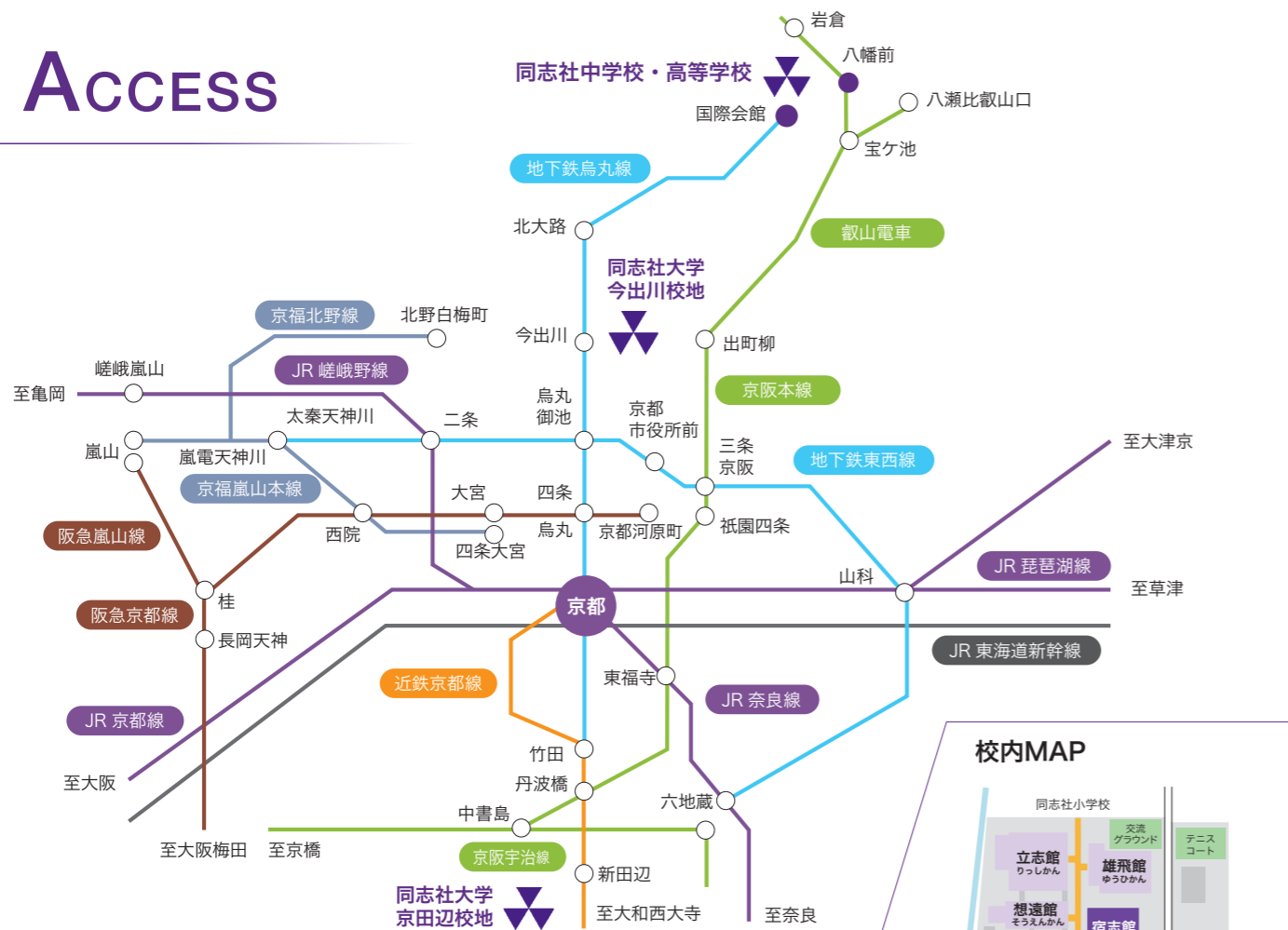
「やってみよう」という思いを受け止めて、全力でサポートして下さる先生方がいらっしゃる同志社高校で、ぜひ自分の納得のいくまで挑戦を続けてみてもらいたいと思います。

【システムエンジニア】上田 真由さん

NTTドコモ
2016年度卒業生
[慶應義塾大学 理工学部 理工学科 卒業]



ACCESS

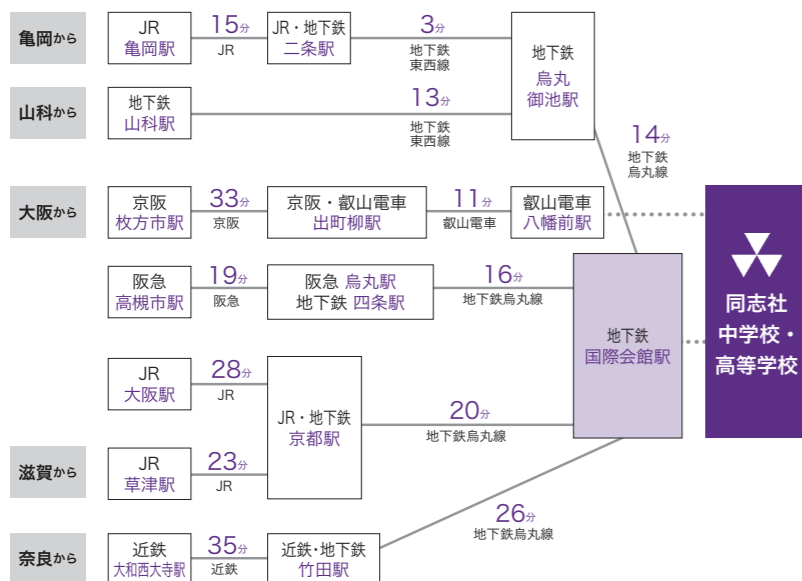


地下鉄烏丸線「国際会館」駅2番出口すぐ
叡山電車 鞍馬行・市原行「八幡前」駅下車徒歩7分

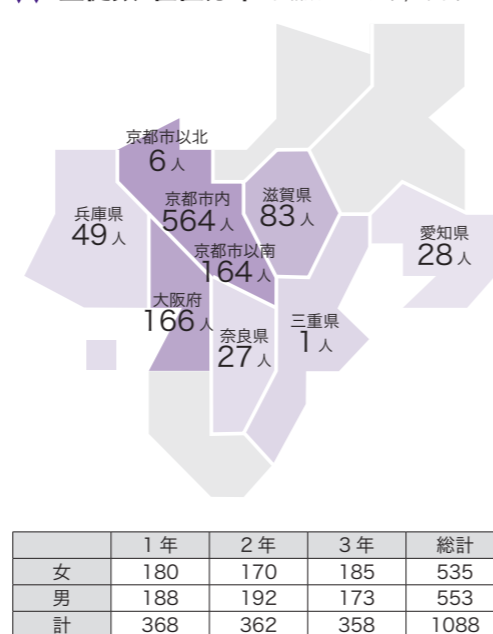


地下鉄烏丸線「国際会館」駅

▼ 各地からのアクセス



▼ 生徒数・在住分布



入試案内

2025年度 高等学校入学試験 概要

募集人員 男女あわせて80名(推薦30名、一般50名)
出願資格 中学校卒業またはこれと同等以上の資格のある者
 ただし、2025年3月卒業見込みの者
 または2024年3月卒業の者
 (推薦入試は2025年3月卒業見込みの者に限る)

試験日 2月10日(月)
試験科目 国語・数学・英語・社会・理科(各教科50分)
合格発表 2月13日(木) 16:00 Web発表・郵送

出願準備<Web登録出願>
 出願サイトより案内に沿って出願準備をしてください。
 ●出願情報登録
 12月1日(日)9:00~1月24日(金)17:00
 ●入学検定料支払
 1月8日(水)9:00~1月24日(金)17:00

出願期間 1月17日(金)~1月24日(金) 消印有効
出願方法 以下の書類を「レターパックライト(青)」にて郵送
 ①入学願書(出願サイトより出力)
 ②報告書(中学で作成・厳封のもの)
 ③[推薦入試のみ] 学校長の推薦書(所定様式)

入学検定料 20,000円(Web決済)
入学手続 入学金(Web決済)・第1期学費等(銀行振込)納入
納入期限 推薦入試合格者 2月28日(金)
 一般入試合格者 3月21日(金)予定

学費(参考 2024年度入学生実績額)
 ○入学金/130,000円
 ○授業料/736,000円、教育充実費/140,000円
 (うち、第1期学費等納入額 388,800円)
 ○タブレット端末代/96,800円(本体・設定費含む)
 *変更になる場合があります。

教育相談について

月に4回、スクールカウンセラーが来校し教育相談に応じています。

留学について

高等学校入学後からの留学で、中学校3年生時点での申請が必要な場合は、申請前に本校までお問合せ願います。

2025年度 受験生・保護者対象 高等学校 入試説明会

10/12(土) ①10:00~ ②13:30~ ※要事前申込み

■場所: 同志社中学校・高等学校 グレイス・チャペル
 ■お申し込み方法: 右記の二次元コードまたは Webサイトからお申し込みください。



<https://js.doshisha.ac.jp>

学校見学 受付中

学校見学について

ご連絡いただければ、いつでも見学可能です。ご家族だけでなく、中学校・塾・教室単位での学校見学も受け付けています。お気軽にご連絡ください。

学校見学のお申し込みは随時お電話にて受け付けています

Tel **075-781-7121**
 (平日9時から17時の間にご連絡ください)

入試データ

■ 過去3年間の応募者数・合格者数

	募集数	応募者数	合格者数	倍率	最高点	最低点
2024年度	50	277	138	2.01	399	286
2023年度	50	259	145	1.79	384	292
2022年度	50	250	131	1.91	366	280

■ 2024年度一般入試結果(合格者)

	国語	数学	英語	社会	理科	合計
最高点	81	100	94	88	81	399
最低点	42	30	30	49	40	286
平均点	61.9	61.9	63.6	66.5	59.1	313.0

■ 2024年度都道府県別応募者数と合格者数

	京都市内	京都府下	滋賀県	大阪府	兵庫県	奈良県	その他
応募者	141	50	65	7	4	5	5
合格者	71	24	34	3	0	3	3

奨学金制度について

- 同志社中学校・高等学校学費貸与金
 その年の授業料の3/4~1/2(就学支援金および同志社高等学校独自の奨学金を控除した額) 家計を考慮して貸与します。
- 四方秀和奨学金
 経済的理由のため就学が困難な一年生1名に対し、授業料の1/2相当額を3年間給付します。
- 同志社中学校・高等学校特別奨学金
 不慮の経済的理由のため就学を続行できなくなった生徒に対して学費の限度内で給付します。

